



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

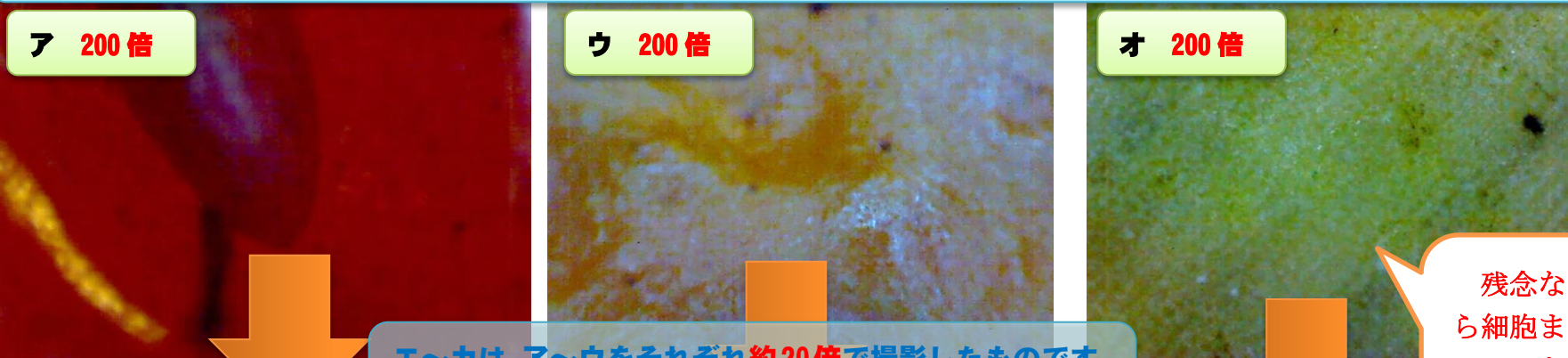
学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

ミクロの世界 PART2 身近な食べ物の表面を拡大して見ると・・・!

よく見る食べ物の表面を拡大してみました。食べ物（今回は植物）も生物なので、人間と同じ「細胞」でできています。今回の観察では細胞までははっきり見えませんが、普段見られない画像をご覧ください。

ア～ウは、ある果物（アとウは分類上は野菜）の表面を約200倍で撮影した画像です。その果物とは？



エ～カは、ア～ウをそれぞれ約20倍で撮影したものです。これならわかりますか？

残念ながら細胞までははっきり見えません。

ヒント：この粒の1つ1つが果実です。つまり、1つの花にめしべがたくさんあったということです。

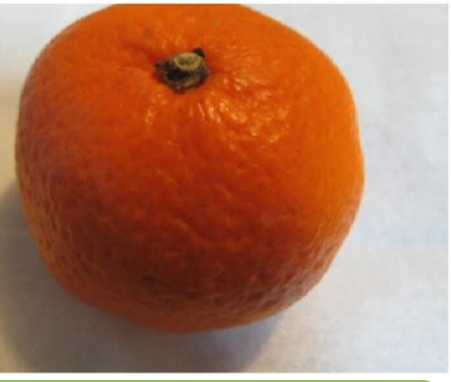
ヒント：表面が少しでこばこしています。

ヒント：表面に細長い筋がたくさんあります。

上の問題の解答です。すべてわかりましたか？



表面のつぶつぶの1つ1つが果実なので、この中に種子があります。赤い部分は花托（かたく）といい果実ではありません。



アとイは、【イチゴ：苺】バラ科の多年草。分類上は野菜です。

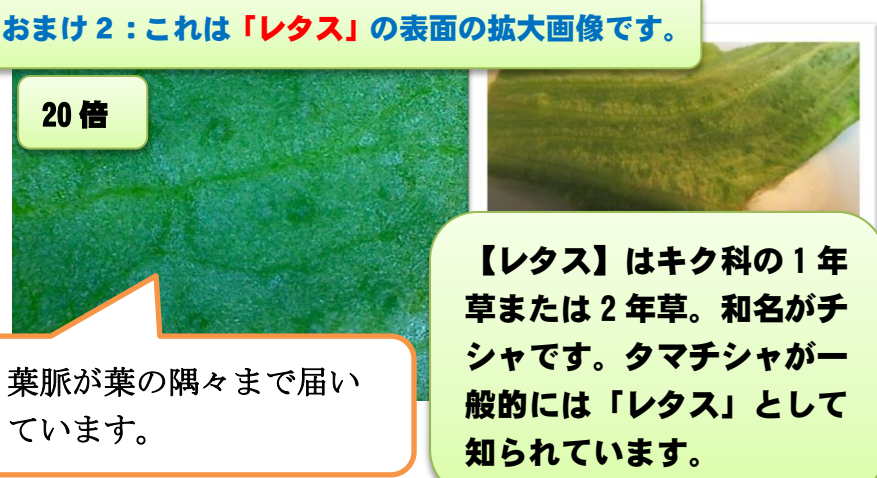
ウとエは、【ミカン：蜜柑】ミカン科 甘い柑橘ということで蜜柑と書きます。

オとカは、【バナナ：甘蕉】バショウ科の多年草。分類上は野菜です。



これが毛です

「へた」にはよく見ると毛がたくさん生えています。



葉脈が葉の隅々まで届いています。

【レタス】はキク科の1年草または2年草。和名がチシャです。タマチシャが一般的には「レタス」として知られています。